

編集後記

世の中がADASや運転支援、自動運転の実現に向けて、にわかに加速してきています。

当社は「安心・安全」「快適・利便」「環境」の三つの事業領域を持っており、従来にも増して、高度な技術開発、開発スピード化が求められています。

今号では、要素技術から開発ツール、製造工法、開発製品と、幅広く紹介しており、いずれも車載システムの付加価値、商品力を向上させるための重要な開発アイテムです。

今後もICT(情報通信技術)を駆使して、人とクルマ、社会とクルマをつないでクルマ社会に貢献していく方向性をより強化継続し、より技術開発スピードを上げ、お客様に指示される製品をタイムリーに開発、提供していきたい。

(J・H記)

2020年代初頭にレベル3の自動運転技術を実用化しようと、多くの企業がその技術の開発を手がけている。そして今、夢ではないところまで技術が進化した。

近年、半導体集積の技術はSoC (System on Chip)と呼ばれ全ての機能を1チップのウェハの上に集積する技術が主流となり、AI技術もそのシステム上に搭載できる規模となりつつある。今回の技術報告書では集積、集約される技術ではあるが、個々の技術を理解し扱える力をもっているからこそ集積でき新しい物が生み出せるのであること、そして新しいものを生み出そうと研究に取り組んでいる技術者の熱い思いを少しでも披露できればとの想いで編集・構成した。

(T・T記)

表紙

妹家族が仙台から引越して来た日、神戸空港に出迎えの際に撮影しました。

この飛行機は、大震災を経験した神戸と仙台を結んでいます。両被災地とも、今も復興に向かって頑張っています。

離陸が、復興から未来に向かって飛躍しているように見え、写真に収めました。

当社も未来に向かって「挑戦」、そして更なる「飛躍」を遂げたいものです。

今村 忠

編集委員

委員長 高橋 淳二

委員	井上 卓也	山田 浩
	木谷 哲也	中井 克幸
	鷗野 雄二	東田 博文
	伊藤 淳治	富田 力
	橋本 順次	安原 孝文

幹事 三輪 昇平

事務局 平塚 陽子

富士通テン技報 2016 Vol.34 No.1

通巻第62号

2017年3月発行

発行所 富士通テン株式会社
〒652-8510 神戸市兵庫区御所通 1-2-28
<http://www.fujitsu-ten.co.jp/>
編集発行人 高橋 淳二
印刷所 株式会社 桜商会
〒650-0013 神戸市中央区花隈町 21-7

©富士通テン株式会社 2016 [不許複製]

本誌の内容についてのお問い合わせは下記富士通テン技報編集委員会事務局(共通技術推進部)へご照会下さい。

〒652-8510 神戸市兵庫区御所通 1-2-28

電話代表 (078)671-5081

E-mail: ten-tec-journal@dl.jp.fujitsu.com

富士通テン技報

URL: <http://www.fujitsu-ten.co.jp/gihou/>

FUJITSU TEN Technical Journal

URL: <http://www.fujitsu-ten.com/business/technicaljournal/>

記載した製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。